

患者の皆様へ

2018年7月17日 婦人科

当院で診断、治療される患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題：JGOG1072S-A1「IB2-IIB期の子宮頸部通常型腺癌における術前化学療法の有効性についての後方視的検討

2. 研究の対象

2004年1月1日より2008年12月31日までに当院で治療された子宮頸癌IB2-2B期の患者さんで非扁平上皮癌の方が対象になります。

3. 研究目的・方法

子宮頸部通常型内頸部腺癌FIGO分類IB2-IIB期における術前化学療法の有効性について後方視的に検討します。また、胃型粘液腺癌などの特殊な組織型の治療成績についても検討することで、子宮頸部腺癌の組織型の違いによる治療個別化の必要性について考察する。研究期間：平成30年5月から平成32年2月までを予定しています。ただし、必要な手続きを経て変更する場合があります。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

当院で治療を受けられた患者さんのカルテ記載情報及び生検、手術により採取・保管された検体を使用します。生検、手術により採取・保管された検体から、あらたに病理標本を作製し使用します。

カルテ記載情報に関する調査項目

a. 患者背景因子

年齢、組織型、進行期、手術日、術後補助療法開始日、術後補助療法終了日、初回再発日、再発部位、予後確認日、予後

b. 再発リスク

腫瘍径、リンパ節転移(骨盤内、傍大動脈節)、傍結合組織浸潤、頸部間質浸潤(1/2を超える)、脈管侵襲、体部浸潤、腹水細胞診、卵巣転移

c. 術後補助療法

術後補助療法の有無、術後補助療法の詳細

5. 外部への試料・情報の提供

本研究では、上記診療情報と検体を匿名化(研究登録番号を付与)して岩手医科大学に送付、集積します。名前や住所など個人が特定される情報の集積はいたしません。対応表などのデータ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる棚で保管します。また、個人が特定されるような情報は一切公表しません。個人情報の安全保護においても厳重に管理され実施されます。

5. 研究組織

特定非営利活動法人 婦人科悪性腫瘍研究機構参加施設

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-22 小松ビル4F

TEL : 03-5206-1982 FAX : 03-5206-1983

E-mail : info@jgog.gr.jp

研究代表者 岩手医科大学医学部産婦人科 千葉淳美

千葉大学大学院医学研究院 生殖医学 研究責任者 三橋 暁
043(222)7171 内線 5314

6. お問い合わせ先

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
(平成26年12月22日)に基づいて掲示を行っています。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉大学大学院医学研究院 生殖医学 三橋 暁 (当院研究責任者)

住所 〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

TEL : 043-222-7171 (代) / FAX : 043-226-2122